

第67回計画推進評価部会（平成26年1月28日）の意見と対応

NO	委員名	頁	意見	対応
1	植松委員	6	・新興国については、インフラ需要だけでなく、リスクについても記載した方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、P.6「世界経済との結びつき」にリスクに関する記述を追加しました。
2	齋藤（純）委員	7	・オープンガバメントの説明が抽象的になっているので、もう少し具体的・魅力的に記述した方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、P.7「情報化の動き」にオープンガバメントに関する記述を追加しました。
3	齋藤（文）委員	8 21 41 42	・若年女性の貧困が子どもの貧困の連鎖にも繋がるため、記述しておくべきではないか。	ご意見を踏まえ、P.8「労働をめぐる状況」及びP.21「生活困窮者支援」に女性の労働環境に関する記述を追加しました。また、資料編P.41～42にデータを追加しました。
4	内田委員	8 18	・国際戦略総合特区への指定や、米国、シンガポールとの協定締結など、ライフサイエンスを強化する動きが始まっているので、未病産業との関連で記述した方がよいのではないか。	ご意見については、P.8「産業構造の転換」に記載しておりますが、ご意見を踏まえ、P.18「最先端医療関連産業と健康・未病産業の創出」に記述を追加しました。
5	内田委員	10	・薄膜太陽電池は有望であるが、耐久性が確認できていないのではないか。	ご意見を踏まえ、P.10「東日本大震災以降のエネルギーをめぐる状況」の記述を修正しました。
6	竹中委員	10 16	・エネルギーについては、福島第一原子力発電所事故以来、問題が存在していることを現状認識として記述した方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、P.10「東日本大震災以降のエネルギーをめぐる状況」及びP.16「分散型エネルギーシステムの構築」に原子力発電所に関する記述を追加しました。
7	内田委員	10 16	・県が推進している燃料電池自動車の普及には、欧米並みの規制緩和が必要であるので、その点を指摘しておく必要があるのではないか。	ご意見については、P.10「東日本大震災以降のエネルギーをめぐる状況」に記載しておりますが、ご意見を踏まえ、P.16「分散型エネルギーシステムの構築」に記述を追加しました。
8	齋藤（文）委員	11 17	・ウイルスに対する防衛策について、記述しておくべきではないか。	ご意見を踏まえ、P.11「安全・安心」及びP.17「感染症に対する取組み」にウイルスに関する記述を追加しました。
9	治田委員	15	・課題の解決に当たっては、連携や横断的な対応という方策だけでなく、産業の活性化という目指す社会（ビジョン）についての記述を追加するべきではないか。	ご意見を踏まえ、P.15に「新たな政策課題を検討するに当たっての視点例」を追加しました。

NO	委員名	頁	意見	対応
10	山本委員 矢野委員	15 19 24 26	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者標準社会への転換」、超高齢化、少子化などネガティブな表現が多い。ポジティブな面も含めて表現の検討をするべきではないか。 ・高齢者を就労の視点で捉え、高齢者の活躍支援の項目を付け加えるべきではないか。 	ご意見を踏まえ、P.15「新たな政策課題を検討するに当たっての視点例」、P.19「労働環境の改善」及びP.24「女性・高齢者の活躍支援」に高齢者に関する記述を追加し、P.26「良質な住宅・住環境の形成」の記述を修正しました。
11	山本委員	16	<ul style="list-style-type: none"> ・県では、地球温暖化対策に対して熱心に取り組んでいるため、「エネルギー・環境」の部分に追加するべきではないか。 	ご意見を踏まえ、P.16「気候変動による影響への対応」に地球温暖化対策に関する記述を追加しました。
12	三井委員	18	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を支えている小さな企業等を評価し支えていくことを、「産業・労働」の分野に記述した方がよいのではないか。 	ご意見については、P.18「中小企業の経営基盤強化・海外展開支援等」に記載しております。
13	高橋委員 三井委員	19 23	<ul style="list-style-type: none"> ・ニートやブラック企業の問題といった課題を記述するべきではないか。 	ご意見を踏まえ、P.19「労働環境の改善」に労働環境に関する記述を、P.23「若者の自立に向けた取組み」に若年無業者に関する記述を追加しました。
14	齋藤（純）委員	19 20	<ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉産業は今後も伸びることが予想されるが、労働環境が魅力的ではない。魅力的な労働環境となるよう医療福祉分野に対応していくというように、「産業構造の転換」と「労働をめぐる環境」を関係付ける記述が必要ではないか。 	ご意見を踏まえ、P.19「労働環境の改善」及びP.20「地域包括ケアの推進」に医療福祉分野の労働環境に関する記述を追加しました。
15	大久保委員	20	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の役割として、医療サービスの提供だけではなく、介護や福祉施設との連携についても考慮する必要があるのではないか。 	ご意見については、P.20「地域包括ケアの推進」に記載しておりますが、ご意見を踏まえ、一部記述を修正しました。
16	大久保委員	20	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい課題として、認知症に関する記述を追加した方がよいのではないか。 	ご意見を踏まえ、P.11「医療・介護」及びP.20「地域包括ケアの推進」に認知症に関する記述を追加しました。
17	大久保委員	20	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域医療体制の構築」に救命率の向上という記述があるが、どのような社会環境の変化によってこの課題が出てきたのか、つながりが見えず唐突に感じる。 	ご意見を踏まえ、P.20「地域医療体制の構築」の記述を修正しました。
18	三井委員	22	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育・子育て」における最大の課題は、将来の経済を支え、社会や地域の担い手となるべき人材を育成していくことなので、この部分の構成は考え直すべきではないか。 	ご意見を踏まえ、P.22「教育・子育て」の構成を見直しました。
19	齋藤（純）委員	22	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策の一つとして、学校以外での学習支援や地域コミュニティでの支援も付け加えるべきではないか。 	ご意見を踏まえ、P.22「いじめや体罰への対応」に地域での支援に関する記述を追加しました。

NO	委員名	頁	意見	対応
20	治田委員	24	・大企業や中小企業も含め、地元企業の参画は必要なので、企業を「多様な主体」に入れるべきではないか。	ご意見を踏まえ、P.24「多様な主体との連携の促進」の記述を修正しました。
21	齋藤（純）委員 治田委員 牛山委員 大久保委員	24 27	・24ページにある「多様な主体との連携の促進」や27ページにある「多様な担い手との連携」には誤解を生みやすい表現が含まれているため、表現の工夫をするべきではないか。 ・「多様な主体との連携の促進」は、県の姿勢が明確に見えるよう、連携だけではなく協働の視点も付け加えるべきではないか。 ・27ページの「多様な担い手との連携」と「横断的な対応」は順序を入れ替えた方が、県民に対して県の姿勢を示せるのではないか。 ・「多様な担い手との連携」の中に「高度な専門性を有する大学との連携」と記述があるが、大学以外の専門機関等との連携が念頭にあるのであれば、「大学等との連携」とするべきではないか。	ご意見を踏まえ、P.24「多様な主体との連携の促進」及びP.27「多様な担い手との連携」の記述を修正しました。 また、P.27「課題の解決に当たっての留意点」の構成を見直しました。
22	山本委員	26	・「県土・まちづくり」の中に、市民参加・市民参画といった視点を入れるべきではないか。	ご意見を踏まえ、P.26「県土・まちづくり」に地域住民との連携に関する記述を追加しました。
23	牛山委員	26	・「まちづくり」がハード整備と空き家対策に限定されているように見えてしまうので、例えばスマートシティなどの視点を含めて記述した方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、P.26「持続可能な県土の形成」に地域特性を生かしたまちづくりに関する記述を追加しました。
24	齋藤（純）委員	27	・多様な担い手との連携については、担い手である社会的企業やNPO等の活動を評価し、次年度以降の支援に反映させるような適正な評価システムの構築が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、P.27「多様な担い手との連携」に評価に関する記述を追加しました。
25	曾委員	38	・県に在住する外国人の総数と地域別の人数のデータの掲載が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、資料編P.38にデータを追加しました。